

原子炉利用研究者グループ総会 議事録

日時：2022年2月17日(木) 12:00～12:30

場所：Zoomによるオンラインミーティング

出席者（敬称略）：

- （所外 25名） 永澤 秀子（岐阜薬科大学）、山上 浩志（京都産業大学）、
納富 昭弘（九州大学）、玉野井 冬彦（京都大学）、岩田 尚能（山形大学）、
三浦 勉（産業技術総合研究所）、松本 哲郎（産業技術総合研究所）、
増田 明彦（産業技術総合研究所）、小野 公二（大阪医科薬科大学）、
鈴木 達也（長岡技術科学大学）、益谷 美都子（長崎大学）、小原 徹（東京工業大学）、
中村 浩之（東京工業大学）、角野 浩史（東京大学）、高橋 浩之（東京大学）、
岡田 往子（東京都市大学）、北澤 孝史（東邦大学）、鷺山 幸信（福島県立医科大学）、
不破 康裕（日本原子力研究開発機構）、神田 一浩（兵庫県立大学）、
石川 正純（北海道大学）、瓜谷 章（名古屋大学）、北口 雅暁（名古屋大学）、
玉田 太郎（量子科学技術研究開発機構）
- （所内 13名） 近藤 夏子、高宮 幸一、高田 匠、高田 卓志、真田 悠生、川口 昭夫、
中島 健、田中 浩基、渡邊 翼、日野 正裕、木野村 淳、鈴木 実、櫻井 良憲
（所内事務局） 仲谷 麻希、小野 知子

資料：

1. 令和3年度原子炉利用研究者グループ総会 議事録
2. 原子炉利用研究者グループ規約変更（案）
3. 京都大学複合原子力科学研究所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合せ修正（案）
4. 原子炉利用研究者グループ令和3年決算報告書
5. 原子炉利用研究者グループ令和4年予算（案）
6. 令和4（2022）年度活動予定表（案）
7. 第4期中期目標期間における共同利用・共同研究拠点の認定のための要望書について（お礼）

審議事項：

1. 令和3年度原子炉利用研究者グループ総会 議事録確認
2. 規約の変更について（資料2）
3. 「京都大学複合原子力科学研究所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合せ」の修正について
4. 令和3（2021）年度事業報告・会計報告
5. 令和4（2022）年度予算案について
6. 令和4（2022）年度活動案について
7. 名誉会員の承認について

報告事項：

1. 定期メール配信の停止及び会員名簿の公開について
2. 定期預金解約及び名義変更について
3. 利用者グループ会費残額の有効な利用方法について
4. 第4期中期目標期間における共同利用・共同研究拠点の認定のための要望書について（お礼）
5. その他

瓜谷代表幹事の司会で、議事次第に従い以下の通り総会が実施された。

審議事項：

1. 令和3年度原子炉利用研究者グループ総会 議事録について指摘事項あれば本総会中にお願いします、と説明あり。特に指摘事項は無かった。
2. 規約の変更について鈴木幹事より提案。①「会」を「グループ」、「役員」を「幹事」など語句を変更②会員該当者の変更③事務局：「当分の間」の語句削除。④幹事の選出について1) 共同利用研究を申請し採択された代表者、2) 専門研究会およびワークショップの申請者および開催責任者、3) 複合研運営委員会委員、共同利用研究委員会委員の会員も有権者とする。⑤幹事の任期のところで、「再任を可とする。ただし」を追記。⑥規約の改廃：「規約の改善は総会出席正会員の三分の二以上の議決により行うことが出来る」の追加。変更について認められた。
3. 「京都大学複合原子力科学研究所運営委員会委員候補者・共同利用研究委員会委員の推薦方法についての申合せ」の修正について鈴木幹事より提案。「複合原子力科学研究所利用者グループ」を「原子炉利用研究者グループ」に変更。変更は認められた。
4. 令和3年度事業報告・会計報告について田中幹事より報告。令和3年決算報告については、前年度繰越金に預金利息を加えたものが収入708,377円であり、支出としては印刷経費・発送費488円のみであった。報告は認められた。
5. 令和4(2022)年度予算案について田中幹事より提案。収入は前年度繰越金707,889円、支出は会議費15,000円の予定で残りを予備費とする。提案は認められた。
6. 令和4(2022)年度活動案について鈴木幹事より提案。2年に1度の選挙が実施される年にあたるため、第1次選挙 投票期間：9/1~9/9で運営委員会委員及び共同利用研究委員会委員の推薦者選出、グループ幹事候補者選出、第2次選挙 投票期間：9/26~10/3でグループ幹事選出、選挙結果を11月にホームページの幹事会議事録にて公表する。また幹事会・総会にはオンライン会議を活用するという提案は認められた。
7. 名誉会員の承認について鈴木幹事より提案。篠原厚大阪大学名誉教授、栗山一男法政大学名誉教授について認められた。

報告事項 (以下、鈴木幹事より報告)

1. 定期メール配信の停止及び会員名簿の公開について：共同利用からの配信メールでカバーできることから停止。会員名簿公開は選挙年のみに限る。
2. 定期預金解約及び名義変更について：早稲田大学海老原先生名義の定期預金より複合研事務局 普通預金に変更。
3. 利用者グループ会費残額の有効な利用方法について：鈴木幹事より、残高70万円が繰り越されている状態であるが、KURが実質4年で停止することになり、その後の共同利用がどのような形になるかは流動的であることに加え、KURが停止することになると実質的な共同利用の件数が減ることは否めないということで、KURが動いているうちに残高70万円を有効に使うための利用法について検討するためのワーキンググループ(WG)を立ち上げについて幹事会で承認を得た。WGのメンバーとしては所内からは櫻井先生、高宮先生、堀先生の3名、所外からは九州大学の渡辺先生、近畿大学

の佐野先生、東工大の中村先生の3名の先生方に内諾頂いた。令和5年度予算案に反映する。

4. 第4期中期目標期間における共同利用・共同研究拠点の認定のための要望書について（お礼）：所長より令和4年4月1日～同10年3月31日の間、文科省から共同利用・共同研究拠点として認定されたことの報告、認定のための要望書についてのお礼が原子炉利用者グループ代表幹事あてに提出されたと報告。
5. その他：事務局補佐 川口先生より「利用者グループとして新研究炉の利用者グループにそのまま移行することを希望するかしないかアンケートを行ってはどうか」と提案された。幹事会で議論することとなった。

(以上)